



卒業される皆様へ！

6期生2学科71名と7期生10学科343名の方が卒業されます。

2年制、1年制の皆さん夫々に楽しく学んでいただけましたか?! 大学提携講座、地域交流、ふれあい交流祭、各クラスでの校外学習等々で多くの仲間が出来たのではと、想像しております。また、今年度からスタートした特別短期講座(再発見!・日本近代史)の皆さんも修了されます。

「ご卒業/修了おめでとうございます!!!」

8期を迎えるに当たり、令和元年10月30日付で、大阪府4号条例指定NPOの認証(大阪府で7団体)を得る事が出来た事をご報告いたします。引き続き、今年3月末までには、大阪府の認定NPO認証取得(現在取得団体は大阪府で11団体)の予定です。これも、ひとえに会員・受講生・各OB団体の皆様方のお陰と、深く感謝申し上げます。



さて、最近の新聞紙上やマスコミでは、2025年問題が話題になっています。厚生労働省によると、65歳以上の認知症の人は2015年時点で約520万人に上り、65歳以上の人口の約16%。2025年には約700万人となり、約20%に達すると推計されています。『人生100歳時代』が到来し、「生涯現役社会の実現」を掲げる政府は、認知症対策を重要課題と位置付け、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年までに6%減を数値目標に設定しました。

日本で有名な認知症専門医の長谷川和夫医師(長谷川式スケール開発者)と猪熊律子氏共著の「ぼくはやっと認知症がわかった」を拝読させて頂きましたが、専門医である長谷川氏ですら認知症を発症されているようです。「多くの方は認知症を発症するが、いかに進行を遅らせるか」と記され、その為には、「多くの仲間と出会い、好奇心、学ぶ、話す等」を挙げておられます。

年々、再受講の方が増え、卒業生の皆様の中にも、8期の受講申し込みをして頂いている方が多くおられます。

卒業される皆さんも、地域活動・クラス会・各地域同窓会・SA会・フェスト会等々に積極的に参加され、いつまでも好奇心を忘れず、新たな学びを求めて活動されることを願っています。【理事長 猪谷義弘】

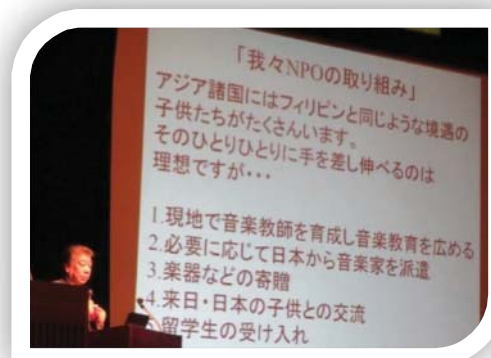
ONCC 設立7周年記念行事「講演と音楽の集い」

ONCC 設立7周年記念「講演と音楽の集い」を12月4日(水)、豊中市立文化芸術センターアクア文化ホールにて、多数のご来場をいただき、盛大に開催することが出来ました。

冒頭、猪谷理事長より7周年記念を迎えるにあたって関係各位に対する感謝と今後に対する取組みの挨拶があり、引き続きご来賓の豊中市福祉部部長 大東幹彦様より豊中市長 長内茂樹様のお祝いメッセージを代読いただき 開演しました。

第1部「講演」では「音楽はアジアを救う」と題してNPO法人アジア音楽教育者育成プロジェクト 理事長 松田淳一様に映像・動画も含めて「東南アジアの子どもたちを現状から救うために日本人音楽家を派遣、現地音楽家との交流、教育者育成や孤児院・小学校などでの情操教育を通して健全育成につなげていく活動を展開中、今後の活動・展望に理解を・・・」と熱く語っていただきました。

先生の今後の活動に皆様方のご協力よろしく申し上げます。



第2部「音楽」ヴァイオリンの妙技とピアノ四重奏

演奏者 ヴァイオリン：松田淳一さん

ヴァイオリン/ヴィオラ：柳浦香澄さん

チェロ：藤原克匡さん ピアノ：松田淳子さん

黒い瞳・ママ(ロシア民謡)を皮切りにスペイン奇想曲まで、“昭和の歌声にこと寄せて”では、お馴染みの曲：男はつらいよ等をコーモアに富んだ紹介を交えながらの演奏は“妙技”という他はなく、曲毎の拍手は凄いものでした。

アンコールはヒバリ/ルーマニア民謡を「ヒバリの鳴き声」とか、これまた特別の演奏で楽しい音楽会となりました。

参加者のみなさんからはよかった。よかった。感動した！の声を多くいただきました。ありがとうございました。



大学提携授業（梅花女子大学）

市瀬先生は大学での講義の他、毎日文化センターなどで万葉集や日本書紀の生涯学習講座を担当されていて、「City Life」にコラムを掲載されています。

また、ONCC 8期 特別短期講座「はじめての日本書紀と万葉集」の講師もしていただきます。

元号の「令和」が採択された 現存する最古の歌集『万葉集』の話題の序文について話をして頂きました。「梅花の歌 三十二首 并せて序」の資料をもとに優しい口調で、明快に分かりやすく説明していただいたので、難しいと思って来られた方も、先生の話に引き込まれてあっという間に時間が過ぎた様です。

「令和」に込められた思いを確

かめて、新しい年を迎えたいものです。

講義終了後、梅花歌劇団「劇団 この花」の皆さんによるパフォーマンスを拝見し、素敵な歌とダンスに元気をもらいました。

若いってスバラシイ！



卒業／修了を迎えて！

地域福祉を学ぶ科 7期生 豊中教室

自分の住んでいる豊中市の現状と課題を知ろうと思い、「地域福祉を学ぶ科」を受講しました。

高齢化・貧困・ひきこもり等々の問題はあるものの、行政と連携しながら解決に努める人々が地域に多くいることを知りました。私も「相手のできない事を助け、自分も助けられ上手になる」を目指して実践していきたいと思いました。



クラスにはすでに長くボランティア活動をしてきた方々もおられ、豊富な経験を伺うことができました。皆さんすでに真のアクティブシニアでした！午後一番の大阪弁ラジオ体操は、毎回楽しかったです。

最も印象に残っていることは、交流祭発表に向けて、班の皆で明石と南港ATCへ介護ロボットの見学に行ったことです。ロボットの機能に驚き、貴重な体験ができました。

発表では、見学施設が身近にあることを多くの方々に知って頂きたいと思い展示を作りました。

広報メンバーと共にブログ作成をするのは大変でしたが、やり切った感です(^-^)

CA高山さん、教務木崎さん、1年間お世話いただき本当にありがとうございました。【文： 口村泰子】

7期生 豊中教室

人生100年時代を迎えた今日、親の急死により突然、相続に関し超多忙の体験をしたことから私は本講座を受講することにしました。

受講生は30名でしたが、殆どの方々は相続問題や後見人制度など終活に関する身近な知識を得ようと授業中は静かな雰囲気で大変熱心に受講されていました。特に私が印象に残った講義は、大阪地方裁判所の「ふれあい見学会」でした。裁判官の衣装を身にまとい裁判長席に座り裁判室を見回した時に、急に身震いし、緊張感が走りました。それは法に則り沈着冷静に人を裁くことが本当に自分にできるのか？と急に疑問に思えたからです。

一方、楽しい思い出はワイワイクラブが結成され毎週講義終了後に反省会と称してワイワイガヤガヤと飲み会が開かれたことです。利害関係がない仲間作りには打って付けです。

今年の目標は私も遺言書を作成し、残された妻や子供たちに煩わしい思いをさせないようにすることです。

ただ残念なことは本講座が本年度で終了することです。

我々高齢者にとっては必要不可欠な知識を得られる講座でした。【文：津村昭雄】



7期生 摂津教室

何気なくONCCのパンフレットを見て、健康・スポーツ・食生活科の内容にこれからの私にとって必要になると思い受講しました。



胡先生のご指導で、ゴムバンドや椅子等を使って身体全体を動かし、日頃使っていない筋肉痛を覚えながらも、楽しく笑顔で頑張りました。食生活に関しては一日の食事を分析グラフ等で数値化してもらい、自分の栄養摂取状態を知ることが出来、生活習慣病にならない様に意識して毎日の食事をとることの大切さを学びました。

班活動では、近くの5大学の学食をテーマに、学生達がどのようなメニューを食べているのか、実際に食べてみたことで、学生達は安価で栄養バランスの取れた食事をしていることが解りました。

班の仲間達とその時々を思い出しながら発表作品を纏め上げ、ふれあい交流祭で発表した事は良い思い出になりました。

また、特に梅花女子大学での万葉集から紐解く元号「令和」の意味の講座にも引き込まれました。

このように色々なことを知り、経験が出来た事は私にとっては実りあるもので、今後も学びの場を探したいと思います。先生方はじめ皆様には大変お世話になりました。これからも宜しくお願い致します。【文：川上直美】

7期生 豊中教室

昨年4月にわくわくした気持ちと若干の不安を感じながらこの講座を受講しました。

今振り返ると講師の先生方の話も分かりやすく、当初の想像よりもよく歩き天候にも恵まれたと思います(能勢の黒川ダリア園の時は後半雨でしたが)。

又、各地のガイドさんにもお世話になり楽しく学べたと思います。

1年間の短い期間でしたが班の皆さんとは「ふれあい交流祭」の班の展示テーマの為にカリキュラム以外の班単独活動で午後に現地訪問(関大博物館、川西市文化財資料館、長岡市勝竜寺公園等)に行ったり、その後の反省会(飲み会?)も含めて楽しく有意義な時間を過ごせたと思います。各班の方ともそれぞれの活動を通じ、2学期以降はより親密になれた様にも思われます。

又、クラスも秋の郊外学習で万博公園横でのパークゴルフ、BBQで大いに懇親を深めました。

この後は成果発表会が2月にあり、終了しますが、3学期の授業も楽しく行いたいです。

最後にONCCのスタッフ、CAの方々にも御世話になり1年間ありがとうございました。【文：佐味 実】



美とアートを巡る科 7期生 茨木教室

ONCCの講座に通い始めておおよそ6年が経過します。これまで「歴史と文学」「写真」「音楽」など様々なジャンルでの学習機会を持つことが出来ましたが、今回は「美とアートを巡る」という魅力的なテーマのもとに、幅広い美術作品



や作家、又それらが誕生した歴史的な背景について学ぶことが出来ました。

授業中うなずきながら聴き入った内容も、しばらくすると、すっかり記憶から消え去っていることにショックを受けながらも、休むことなく真面目に教室通いに励んできました。それは講師の先生方の豊富な知識に基づく興味深い講義内容もさることながら、多くの美術館を実際に訪ね、作品に触れる機会があった事など、企画内容が変化と魅力に富んだものだったからとっております。

今後はこの一年間で学んだ学習成果を好きな音楽鑑賞や写真創りに生かすとともに、美術作品についても少しは語れるよう さらに学習を深めてまいりたいと考えております。

皆さん、1年間お世話になり、ありがとうございました。【文： 高橋一秀】

歌って楽しむ音楽科 7期生 池田教室

クラシック音楽を聴き続けてうん十年、関連の知識をそれなりに得ていたつもりでしたが、この科で学んで目からウロコが多くありました。講義、実技も予想以上にすばらしく、満足の連続でした。

①先生の講義は、時代背景を踏まえてその音楽がどうして成立したかを説明されました。学校では習わない事柄を多く教えて頂きました。

②プロジェクターの資料が豊富で、珍しい音源など、貴重な体験でした。

③アンサンブル・サビーナの生演奏を毎回身近で楽しめました。

④ヴォイストレーニングは大事なポイントを丁寧に繰り返し指導して頂きました。にもかかわらず、私はなかなかマスターできなかったことが心残りです。でも、コーラスでアクアホールの舞台に立つことが出来たのがよい思い出となりました。

⑤班のメンバーにも恵まれ、CAにも適切なアドバイスを頂き楽しいクラス生活ができました。

余りにも楽しくて来年度もこの科を受講し、音楽を楽しみ、心豊かに過ごそうと願っています。【文： 岩佐益男】



敗者から見た古代史 7期生 豊中教室

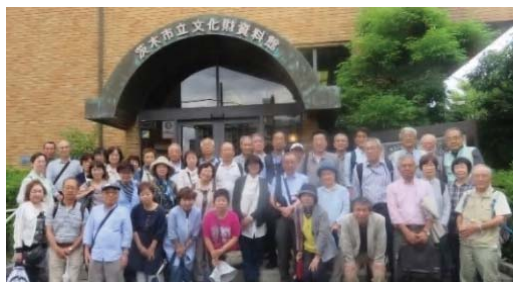
私にとって初めての古代史、しかも敗者から見た古代史とはどのようなものなのか非常に興味がありました。

講義は私の知る歴史と違って、視点を変えて歴史を見直されており、新たな発見に出会うことが多々あり、期待通りの喜びとなりました。4名の先生方が夫々個性あふれる講義をされ、毎回新鮮な気持ちで聞くことができました。

班のテーマを検討していくなかで班員同士の結束が深まり、信頼が生まれたことも大きな成果でした。

又、クラス行事も懇親会、郊外学習、史跡見学会やふれあい交流祭など楽しい行事が催され、クラスの仲間と一体感を醸成することができました。

素晴らしい一年間でした。講師の先生方は勿論、お世話になったクラスアシスタント、行事や会計の方などお世話になった方に改めて厚くお礼申し上げます。【文： 麻野純生】



武士の起こいから応仁の乱へ(中世史) 7期生 高槻教室

ONCC高槻教室に通って5年「歴史ロマン」、「古代」そして『中世史』3回目の卒業式を迎えることとなりました。中世は武将が各地で大活躍し話題性の多い時代だと思っていますので、『中世史』講座の1年はとても短く感じました。

クラスは25名で、高槻教室で「歴史ロマン」か「古代」を受講した人が約半数を占めていたことからクラス内の融和は早く図れました。

印象に残っているものは、近江八幡水郷巡りでゆったりとした時を過ごしたこと、歴史と現代時事を挿入したユーモアある講座、「古文書」に少し親しめそうになった講座、足利義満が山口まで西国守護の国を視察したことと直属軍隊を持ったこと、この時代に現在の各宗派の仏教が発生した事や「室町文化と京都五山」等の講座でした。

来年度から交通便利な高槻教室で歴史・文学系講座が無くなるのが残念です。【文： 田之口 勇】



戦国争乱から大政奉還へ(近世史) 7期生 茨木教室



織田信長の登場で戦乱の混迷からひとまず安定の時代を迎えそうになりましたが、その後の展開は一筋縄ではいきませんでした。中村先生は信長、秀吉、家康の覇権争いとそして幕末の大政奉還に至る波乱にとんだ近世史を最新の研究成果を基にして判り易く講義してくださいました。

時として本論から離れる事が多くテキストにはないが重要なエピソードなどをふんだんに織り交せて、楽しく歴史を学ぶことができました。

信長の唱えた「天下布武」の「天下」は京都を中心とする畿内であること、信長が滅ぼし途絶えた浅井長政の血筋が浅井三姉妹の数奇な運命を通じて、今も連綿と続いていること等は初めて知りました。

さらに先生のご専門である幕末動乱に関しては時間を忘れるほどの熱血講義を展開され幕府側にこそ優れた人材が多く、政治・外交面で日本の国益が守られたこと等を話され、歴史の面白さと本質を再確認しました。

今後もONCCで歴史の面白さを味わっていきたいと思います。【文： 山口隆夫】

美術(水彩)科 6期(2年目) 高槻教室

私にとって水彩画は初めての経験で、昨年は講義・実技と何とか皆について行くのに必死の日々でした。

元号が令和へと変わった今年も、1学期から様々な技法を学びました。午後の実技では、長期経験者も初心者も、各々が試行錯誤しながら取り組みました。

4月より新たに15分デッサンも始まりましたが、皆真剣な眼差しで描き続けていました。9月の初めには、鉛筆の響きが、以前より滑らかになっていたように感じました。

ONCC水彩画教室はあと少しで卒業となりました。受講生の皆さんは、それぞれがこれまでの授業で何かを会得されたと思います。私も土方先生の指導の下、テクニックを1つでも多く身につけ、卒業作品に活かしたいです。

月日はあっという間に過ぎていきますが、教室での仲間との日々の会話や絵の実技意見交換は楽しく、毎週月曜日に通う励みになります。

これからも更なる高みを目指し学び続けていきたいです。【文： 塩崎雅彬】



OMOTENASHI 科 6期(2年目) YMCA 土佐堀校教室

おもてなし科の受講が終わりました。

机上の勉強だけでなく校外学習や交流会、研修旅行もあり実り多き2年間でした。



大正後期から昭和初期にかけて、東京を凌ぐ東洋一の商都として大阪が栄えた時代。時の大阪市を人々は「大大阪」と呼び、日本の経済、文化の中心として栄華を極め、大阪の町には日本一多くの人々が住み、豊かな文化が花開き、数多くの近代建築が建設されたそうです。

驚いたのが100年近くの時を越えて、往時の面影を残す近代建築が今も多く残っていることと、店舗になっている建物は、お食事やお買い物に行き、講演会を聴き行った所だったのです。

いつの時代も、斬新な思考でいろんな良いお仕事をされていた人達がいたので現在があると思います。

おもてなしも伝統や文化を伝えつつ心をこめての対応が必要です。どんな時も相手の立場で考えられる私でありたいと思います。

たくさんの人達にお世話になりました。この場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。【文： 谷口紀子】

再発見！ なんでも見てやろう 特別短期講座 A 現地集合

カリキュラムを見て、見学場所の半分程度は、過去に行ったことがあったが、「再発見！～何でも見てやろう～」のタイトルにつられて、受講しました。

行く先々で、説明員、学芸員の説明を聞くことができ、普段は聞けない話や見られないものを拝見し、正に「再発見！」、「新発見！」を経験できました。

特に、「文楽について学ぼう！」では、文楽人形の仕組み、操作方法等を解説いただき、人形を手にとってその重さ、操作を体験できました。鑑賞教室では、大夫をはじめ演者夫々の役割、舞台を見るポイント等 実演を交えて解説いただき、文楽の魅力に触れることができました。

また、「日本センチュリー交響楽団の鑑賞」では、公演直前のリハーサルやバックステージの様子を見学しました。客席から見ると広く見えるステージも、指揮台から眺めると意外に狭いと感じました。本番では、ベートーベンの「運命」他の演奏を楽しませていただきました。事前準備、運営に尽力いただいたCAさんに感謝いたします。【文： 浜野尚徳】



日本近代史 ～明治から昭和～ 特別短期講座 B 豊中教室



明治維新からアジア太平洋戦争の終結までの期間を対象に学びました。私はこの年代の歴史について、学校で詳しく学んだことはなく、ほぼ初めての学習でしたが、授業では時系列的に本当に詳しく説明され、なるほどと感心させられる事柄が非常に多くありました。

ところで、いわゆる「外圧」により開国した日本は、欧米列強に追いつくことを命題として行動していたものが、どうして日本自体が欧米列強と同じ帝国主義的な国になってしまったのか、私はその辺りを理解したいと思っていたのですが、今一步でした。

また、日本は台湾を1895年から50年間、朝鮮を1910年から35年間、植民地としてきましたが、その間現地はどういう社会構造であったのか、あるいはどういう歴史があったのか、もう少し触れられたら良かったと思いました。その朝鮮といえば、韓国との間で、いわゆる「慰安婦問題」がいまだ決着していません(日本は決着済の立場)。それはこの問題に対する日本と韓国の人々の認識の隔たりが大き過ぎるからでしょうか。まずはお互いに本当の歴史をきっちり勉強すべきなのではないでしょうか。【文： 深井史郎】

1 年を振り返って！

水彩と油彩を学ぶ科 7期生 吹田教室

授業でいつも先生が必ずお話になることは、描く対象物をよく観察して実践することを、繰り返しお話されました。上手になる近道は無く、この言葉を真摯にコツコツ実践している方は、確実に上達しておられます。その姿を傍から拝見していて、私はどうだろう？ と考えてみると私が確実にできたことは、新しいコミュニティで仲間づくりができたこと、学んで、笑って、お喋りして、彩りのある居場所を作れたことで、行動範囲が広がったこと。もっともっと絵を描きたいと、思えるようになったことです。

そして大学提携授業で新しい刺激がもたらされたこと、まず日常では出会えなかった授業内容で、深い知識が得られたことなど、学内で若い人たちと触れ合えたことで、私の心のゆとりとなり、財産となりました。来期は心のゆとりに加え、技術も上達するよう、努力したいと思っています。【文： 尾浦修子】



「ONCC 地域活動推進部」活動報告

地域活動推進部は卒業生を中心に、互いの交流、地域活動を目的として、「げんき塾」、「ふれあい歩こう会」、「地域活動会」があります。

げんき塾（活動実績、予定は、<http://genkiyuku2.blog.fc2.com/> をご覧ください。）

ふれあいサロン「げんき塾」は、話し相手がいない、近所付き合いが少ないといった高齢者がサロンで、近所の人と話をし、「いざという時は、お互いに助け合える関係」となる事を願って、毎月第1金曜日に刀根山蛭池会館にて実施しております。気軽に集って頂けるように、来場者にコーヒや紅茶の接待、とよの農園で作られた野菜などを安価で販売し、歌体操などのイベントを行っております。

2月には高齢者の健康維持を考えて、「白内障のフレイル講座」、「健康チェック検査」を実施します。

ふれあい歩こう会（活動実績、予定は、<http://onccfureaiarukoukai.blog.fc2.com/> をご覧ください。）

ふれあい歩こう会は視覚障がい者と晴眼者とが会話をしながら一緒に街歩きを楽しむ会です。2016年9月より現在まで20回の会合を重ねて来ました。企画も視覚障がい者の方にも参加して頂きながら、2019年度は箕面滝散策、灘の酒蔵巡り、阿倍野防災センター見学、池田五月山公園、豊中不動尊初詣と奇数月の第1日曜日に実施しております。

視覚障がい者の方々の参加者も毎回増えており、楽しく積極的に参加してもらっております。



触って大木の太さを確認！

地域活動会

地域活動会は茨木・豊中地域で行われるイベントフェスタに参加しています。豊中くらし館祭りが10月に実施され、今年は初めての参加ですが、子どもたちにとって喜んでもらえるようなおもちゃ(アルマニカー、ロボコップかえる、まとい等)に人気があり、多くの親子連れの人たちが開始と同時に机の周りを取りかこむほど大盛況で、準備していた材料がなくなるほど大盛況でした。

また、野菜(新鮮な茄子)の販売も行い、すぐに完売



子どもに教えている風景

するほどの大盛況でした。

【文： 地域活動推進部 竹束正彦】

クラブ活動紹介

写真クラブ北部写楽会

写真クラブ北部写楽会を立ち上げて今年で早7年になりました。ブログの掲載をし出したのが、ONCCが始まって直ぐ手続きをし、平成25年9月からです。

この1年を振り返ると、夏は大変暑く撮影会は4回しかできませんでした。

桜特集・ばら特集や夏休み特集などを組ませて頂き、会員からあちこちの作品をたくさん頂き、ブログに載せることができました。

また、ふれあい交流祭では9名の参加を頂き18作品。そして1昨年より大阪モノレール蛭池モノギャラリーにも参加しだし、今年は9名16作品を2週間展示しました。

これからもOBを交えた会員同士の親睦も兼ねた撮影会などと作品を載せる特集も続けたいと思っております。それと、ふれあい交流祭の展示で北部

写楽会に入りたい方が出てこられ喜んでおります。【文： 武田通夫】



史跡探訪クラブ

史跡探訪クラブは 北摂ONCCの第1回目の交流祭の時に、募集案内を出させて頂き、発足しました。当初は、ハイキングクラブでしたが、年々高齢化して低地の史跡探訪をしたいという方が多いので、名称も変更しました。

今は、約30名の会員で10～15名で年間8回史跡探訪をしています。

それ位の人数ならバスや電車に乗っても、地元の方にもご迷惑になりません。

年間計画は主に世話人の独断で決めています、会員夫々の受講日がバラバラなので、曜日も工夫はしています。

コースも10km未満と短めに設定し、上りはタクシーも利用して、負担を減らすようにしていますが、下りは足腰に負担を掛けるので悩ましいです。

ぜひ、他のクラスの方々もクラブを立ち上げて楽しんで頂けたらと思います。【文：世話人 御勢健二】



つげ 都祁の双ラン自生地南限

令和2年度 公開文化講座の案内

講座名・講師	開催期日(現地講座以外は午前中)	場所
「日本近代文藝の魅力を探る」 夏目漱石の青春『坊ちゃん』他 細川正義先生(関西学院大学文学部名誉教授)	毎月(8月除く)月曜日 全11回 詳細は、お問い合わせください。	豊中市 関西みらい銀行
「名作のセオリー」 近松門左衛門『曾根崎心中』他 たつみ都志先生(武庫川女子大学名誉教授)	毎月(8月除く)水曜日 全11回 詳細は、お問い合わせください。	豊中市 関西みらい銀行
「御伽草子の世界」 渋川版『浦島太郎』の世界他 小野恭靖先生(大阪教育大学教授)	毎月(8月除く)火曜日 全11回 詳細は、お問い合わせください。	茨木福祉文化会館 又は クリエートセンター
「裏紫都子の歴史散歩」 世界遺産 百舌鳥・古市古墳群と堺の街歩き 裏紫都子先生(ONCC歴史・文学講師)	毎月(4、7、8、3月除く)第4水曜日 11月、12月 は第2土曜日 全8回(内3回は現地講座) 詳細は、お問い合わせください。	茨木福祉文化会館 又は 茨木市ローズWAM

令和2年度 主な行事予定

行事名	日程	場所
第8回入学式	4月8日	豊中市アクア文化ホール
共通講座	9月9日	豊中市ローズ文化ホール
ONCCふれあい交流祭	11月25日	豊中市文化芸術センター
大学提携授業(1)	12月10日(予定)	梅花女子大学
大学提携授業(2)	2月10日(予定)	立命館大学
修了式	2~3月	各科教室

Facebook ページを開設しました!

ONCC関係者や北摂地域の人々との手軽な情報交換の場を目指してFacebook ページを開設しました。皆様が日々取り組んでおられる趣味や活動、地域の話のスポット、イベント情報など何でも投稿して、ネットワークを広げ、地域のコミュニティを盛り上げていきましょう。

右のQRコードあるいは、URLよりアクセスしてページをのぞいてみてください。

皆様の投稿、コメントをお待ちしています!

<https://www.facebook.com/oncc.jp.2019>



編集後記

第16号は、卒業/修了を控えて、受講生の皆様に、入学から今日までの受講の感想をとりまとめいただきました。多くの知識の習得は勿論のこと、楽しい仲間もでき有意義な一年を過ごすことができたとのこと心より喜んでおります。

今年は新年から新型コロナウイルス問題で何かと気のもめるスタートとなりました。気候も冬を飛ばして、いきなり春が来たかと思わせるような暖冬続きでしたが、2月を迎えて、ようやく冬らしくなって、今しばらく寒さが続くようですが、健康に十分ご留意ください。(山)

